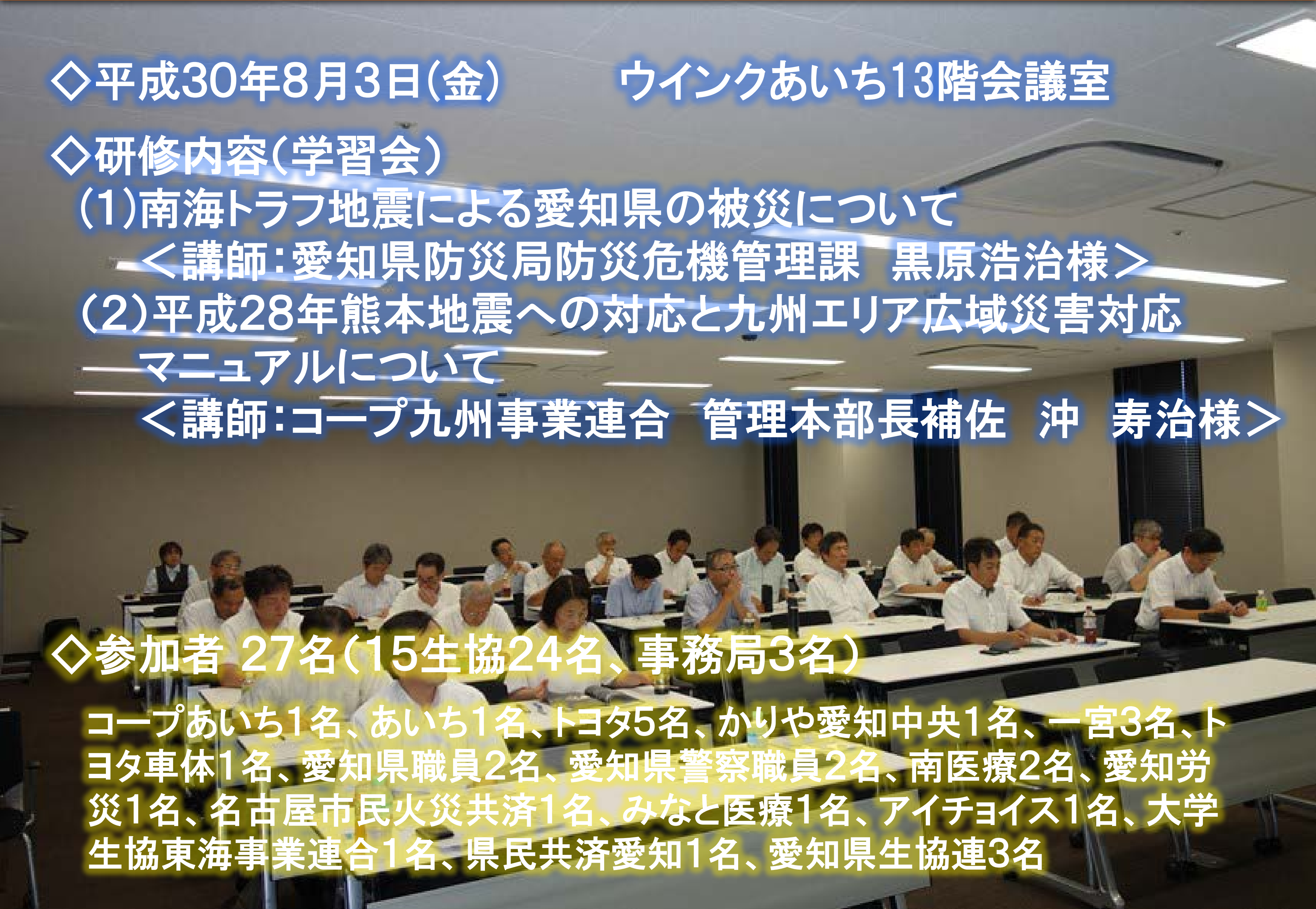
平成30年度「防災・BCP研修会」実施報告



◇平成30年8月3日(金)　　　ウインクあいち13階会議室

◇研修内容(学習会)

(1)南海トラフ地震による愛知県の被災について

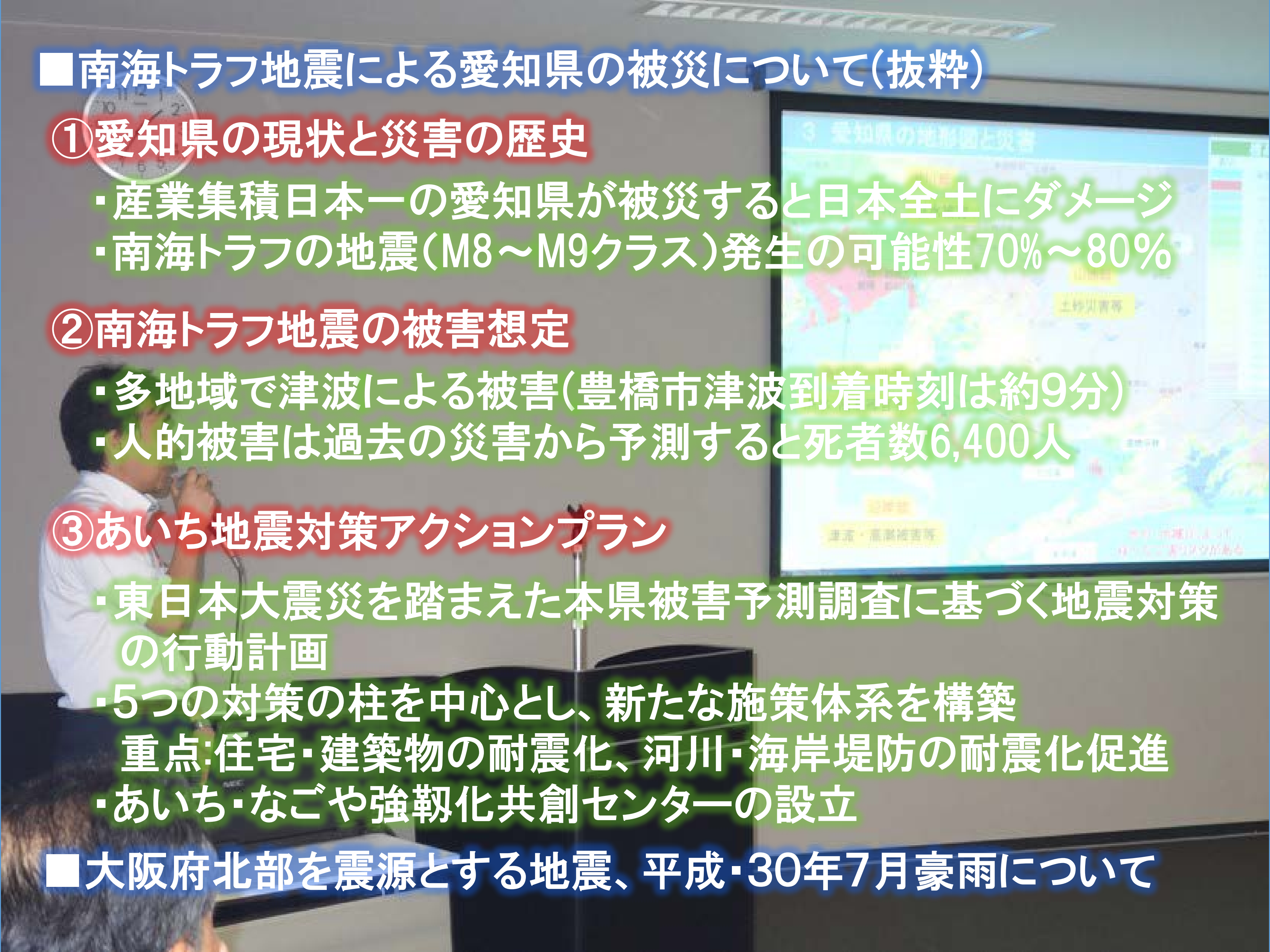
＜講師:愛知県防災局防災危機管理課　黒原浩治様＞

(2)平成28年熊本地震への対応と九州エリア広域災害対応マニュアルについて

＜講師:コープ九州事業連合　管理本部長補佐　沖　寿治様＞

◇参加者 27名(15生協24名、事務局3名)

コープあいち1名、あいち1名、トヨタ5名、かりや愛知中央1名、一宮3名、トヨタ車体1名、愛知県職員2名、愛知県警察職員2名、南医療2名、愛知労災1名、名古屋市民火災共済1名、みなと医療1名、アイチョイス1名、大学生協東海事業連合1名、県民共済愛知1名、愛知県生協連3名



■南海トラフ地震による愛知県の被災について(抜粋)

①愛知県の現状と災害の歴史

・産業集積日本一の愛知県が被災すると日本全土にダメージ
・南海トラフの地震(M8～M9クラス)発生の可能性70%～80%

②南海トラフ地震の被害想定

・多地域で津波による被害(豊橋市津波到着時刻は約9分)
・人的被害は過去の災害から予測すると死者数6,400人

③あいち地震対策アクションプラン

・東日本大震災を踏まえた本県被害予測調査に基づく地震対策の行動計画
・5つの対策の柱を中心とし、新たな施策体系を構築
重点:住宅・建築物の耐震化、河川・海岸堤防の耐震化促進
・あいち・なごや強靭化共創センターの設立

■大阪府北部を震源とする地震、平成・30年7月豪雨について

■平成28年熊本地震への対応について(抜粋)

①熊本地震の概要(生協くまもとの被災状況)

- 最大震度7の地震2回、余震は1,888回/約3か月
- 地震により82人が死亡(関連死含む)、負傷者1,684人

②コープ九州の災害発生時の基本方針、対策本部について

- 被災地への積極的な支援活動を行う(災害時応急物資協定)
- 可能な限りの早期事業継続・事業再開
- 4月14日(木)発災後に対策本部立ち上げ(5/23まで1回/週)

③発災後の事業影響の会員生協への案内、コープ九州発公文書

- 組合員へ欠品・遅配・代替などを正確に案内できること
- 無店舗事業、店舗事業、配食、災害支援の案内等を組合員へ

④生協くまもとからの人的支援要請内容

- 仲間づくり支援(25名)のおかげで新規に433名が利用スタート
- コープ九州の情報システム部による支援対応

⑤行政との災害時の支援物資協定

・熊本県との協定の発動は口頭で確認
・要請があった支援物資は、6月20日時点で約75.6万点お届け
・支援物資の受領対応が不充分で精算時に困った

⑥熊本地震への対応として評価できる点

・会員生協への事業に関する正確な情報発信
・生協くまもと対策本部への職員の派遣（先遣隊）　その他

⑦生協くまもと機関紙より(総代会での発言)

・職員の方も被災された中、組合員に商品を届け続けてくれたことに感謝している

⑧災害対策における今後の課題

・被災地生協の情報収集、および日本生協連等への情報発信
・職員組織とその家族への支援　その他

■九州エリア広域災害対応マニュアルについて